平成２４年度　福井県立嶺南東養護学校 スクールプラン

目指す学校像

みんな“ていねい”に生きる学校

人づくり

初任研、経年研修の充実、目標管理システムによる個人目標の明確化等により、高い専門性を有する教員づくりに取り組む。

教育目標

幼児児童生徒一人一人の障害の状態や特性に応じた教育を行い、たくましく生きる力と豊かな心で、いきいきと生活する人間の育成を図る。

組織づくり

学部・分掌の連携を密にし、共通の理念の下、実行力のある集団をつくる。

学校経営方針

・各学部の特色を活かしながら、一貫した教育を行う。
・健康・安全に留意し、自立的に生活する力の育成に努める。
・生活体験の拡大を図り、豊かな個性の伸長に努める。
・学校間や地域との交流を通して、広く豊かな人間関係づくりに努め、社会性の向上を図る。
・幼児児童生徒の実態に応じた適切な進路指導を行う。
・家庭や教育・医療・福祉・保健・労働機関との連携を密にし、共通理解と協力のもとに、より効果的な教育を行う。

人権教育の推進

・幼児児童生徒一人一人に「助け合い、みんな仲良く」の心情を育てる。
・教職員の人権教育への認識を高める。

研究テーマ(理念の共有化)

一人一人の思いを読み取り、自己実現を目指す授業づくり
～ICFの理念に基づいた取り組み～

重点目標

1 学習指導（共通項目）教務部	2 生活指導（共通項目）生活指導部	3 進路指導（共通項目）進路指導部	4 保健・安全管理（独自項目）保健安全部	5 ＰＴＡ・交流（独自項目）庶務交流部	6 研究・研修（独自項目）図書･研究部	7 教育相談（独自項目）教育相談部	8 情報管理（独自項目）情報管理部	9 寄宿舎（独自項目）舎務部
・個のニーズに応じた自立活動の指導の充実を目指す。	・幼児児童生徒の活動意欲を育てる学校行事を計画し、豊かな学校生活が送れるようにする。	・幼児児童生徒の、社会への円滑な移行を実現する。	・幼児児童生徒の健康で安全な生活の維持・向上に努める。 ・教職員および幼児児童生徒の危機対応能力の向上を図る。安全に学校生活を過ごせる環境を整える。	・保護者・教職員の協力関係や理解を深めるために、充実したＰＴＡ活動を推進する。 ・地域の学校との交流学習を充実させる。	・ICFの理念に基づいた授業づくりを目指す。	・幼児児童生徒の家庭や彼らが関わる様々な機関と連携を図り、地域の子どもたちが、生活しやすくなるよう支援する。	・情報のセキュリティ対策を推進し、情報資産の利活用と利便性を向上させるために共有化を図る。	・寄宿舎生が自分の願いをもち、それを実現するために自らが考え、行動できるよう支援する。

具体的な取組み

・自立活動の指導の目標を明確にして学習内容を設定する。 ・教員間の連携を図る。	・幼児児童生徒の日頃の取り組みを活かして、自主的自発的な活動意欲を育て、一人一人の学習の成果が発揮できる体育大会･学校祭を計画する。	・幼児児童生徒の自己実現と進路先の決定を目指し、体験学習や進路学習を計画的に実施する。 ・保護者および教職員に対する研修や進路に関する情報の充実を図る。	・幼児児童生徒の口腔内の衛生指導に取り組み、家庭と連携し、健康の増進を図る。 ・避難訓練や防犯研修を充実させ、危機の対策を講じることで事故を未然に防ぐ。	・幼児児童生徒の興味･特性や保護者のニーズを踏まえＰＴＡ各部が主催する行事の充実を図る。 ・地域で豊かな生活を送ることができるように居住地校交流の充実を図る。	・ICFの理念を具体的に理解するために、研修等を企画したり、各学部内での授業研究を推進したりする。	・地域の幼保・小・中・高校の気がかりな子どもたちの担当者が適切な支援を行えるように家庭や各機関と連携を図りながら、相談活動を行う。 ・学校見学会の実施、教育相談便り、HPの作成を通して、保護者を含む地域の人々が、本校の教育活動への理解を深める機会を増やす。	・セキュリティに対する意識の向上を啓発しながら情報資産を利活用し、授業等での取り組みの推進を図る。	・寄宿舎生が舎の生活や活動を自ら計画し、実行することができるよう、発達段階に応じた指導に努める。